

高知県商工団体連合会 NO.1118(56-15)
〒780-8035 高知市河ノ瀬町33
TEL088-832-4838 FAX088-832-3126
Eメール kosyoren@citrus.ocn.ne.jp
ホームページ http://kosyoren.web.fc2.com/
このニュースはホームページでもご覧になれます

高商連ニュース

青年部主催 学習会

法人のメリット・デメリット 個人のメリット・デメリット

- 9月27日(金) 19:00~
- リモート開催 (民商事務所で参加できます)
*個人でのリモート参加にも対応します
- 参加費 無料
- 講師: やながこうじ 彌永 巧児 (第一経営相談所)
杉本周吾税理士
- ◆商工新聞にもよく登場する、経験豊富な講師陣です。
- ◆法人・個人のメリット・デメリットを基礎から講義していただき、質疑応答の時間もたっぷりとりまします。
- ◆青年部主催ですが、どなたでも参加できます。
- ◆参加申し込みは、各民商事務所にして下さい。
- ◆「こんなことを聞きたい」「ここが疑問」など、寄せて下さい。事前に講師にお伝えします。
- ◆この学習会は、全国業者青年交流会(10/5・6)のプレ企画として開催します。

須崎 定額減税学習会 & 記帳教室

四万十町と須崎市で定額減税学習会と記帳教室が開催されました。

定額減税の学習会には4名参加。調整給付金の通知書が届いていることもあり、「調整金をもらったうえで定額減税もしたらダブルじゃないの?」「住民税非課税世帯の給付金を過去にもらったけど、調整給付金も受け取っていいの?」など多くの疑問が飛び交いました。複雑な制度なのでひとつひとつ説明を行いながらも、急ぎの対応が必要な場合、様子を見る場合など、相談に応じた解決策を学習していきましました。今後定額減税に関する疑問がある方はお気軽にお問い合わせください。

「自主申告サポーター学校(9/17)」で須崎の取り組みを報告しました。

「9/23須崎民商だより」にルーティーンができて、ここに来ないとはかどらないからと嬉しいお声をいただきました。気になって見学だけでも来てみてくださいね。



自民総裁選、統一協会問題に全員だんまり

解散総選挙、10月27日か11月10日投開票が濃厚
＜衆院高知2区予定候補・浜川百合子さんの支援を高商連総会で確認しています＞



あたたかい激励をいただきました(9月14日、高知市)

2002年に大学を卒業した私たちは「就職氷河期世代」と呼ばれています。卒業時、水河は溶けるどころか「超氷河期」とまで言われるほどに。民間企業も公務員も採用はほんのわずか。フリーターや派遣など不安定な仕事が増えました。教師の道を諦め、教育関係企業を目指すも

氷河期世代

おかしいのか、会社がおかしいのか、分からなくなる。会社がおかしい。自分を大事にしたい。資本に縛られない自由な時間の中で、人や社会とつながり、よりよく生きていきたい。新しい時代をつくるために、氷河期世代の頑張り時です。

会社(資本)に時間やお金を搾取されず、自分や社会のために働きたい。資本に縛られない自由な時間の中で、人や社会とつながり、よりよく生きていきたい。新しい時代をつくるために、氷河期世代の頑張り時です。

募集がなく、最後はいわゆるサラ金に就職、という友人。就活を頑張り、大企業に就職した友人は、卒業後半年で深夜3時、4時に電話をかけてくるようになり、帰った。今、やっとな家に帰った。15時間勤務。しんどい。でも、しんどいと思う自分が

痛めつけてきた財界中心の政治は、少子化や労働力不足など今の日本の深刻な困難を作り出しました。

自民党総裁選で「解雇規制の見直しに挑みたい」(大企業の解雇ルール緩和)と話した43歳の小泉進次郎氏。あの時代を生きた人とは思えない解雇自由化へという発言に憤りを感じます。私たちの世代の苦しみを今度は我が子の世代へ押し付ける気か、とも。

宿毛湾港 記者を案内して 事務局長 橋崎律子 戦争二度とせぬ 「平和でこそ商!



宿毛湾港 記者を案内して
事務局長 橋崎律子
戦争二度とせぬ 「平和でこそ商!

商工新聞8月5日付(4・5面)の「戦争二度とせぬ 平和でこそ商売繁盛」の取材で、山田英明・商工新聞記者を現地案内。2日間、宿毛市宇須々木から、池島新港、丸島、大島、サニーサイドパークなど、海岸ぶちを巡り、新港の対岸にあたる大月町白浜・タツチ港まで、ぐるり巡りました。白浜・タツチへの道は、ガードレールのないうっそうとしたクネクネと細い道。道路の下は断崖絶壁で、落ちないように気をつけて運転。白浜につくと、高い岩に上がったり、タツチ港ではロープで堤防によじ登り、写真を撮る山田記者。(プロやなあ、感心する私)

「先日、沖縄の辺野古へ取材にいったが、白浜の既視感が、辺野古の湾と同じ。湾の半分の水深が深く、砂浜があると似ている」「宿毛湾は、大小の島があり、潜水艇が逃げ込みやすく隠れやすい。軍港に適しているというもうなずける」との山田記者の言葉が忘れられません。実際に現地を見ることで、わかることが多々ありました。

(8/19中村民商ニュース)